

Q & A

(令和8年8月25日現在)



市立札幌
彩輝高等学校
SAPPORO SAIKI HIGH SCHOOL

1. 授業・カリキュラム・進路について

(1) 単位制・授業の仕組みについて

Q1. 100分授業とする理由は何ですか？

A1. 教員の話を一方向的に聞くだけではなく、自分たちで調べ、考え、話し合い、作り上げるなど「気になることにじっくりと取り組み、学びを深める」時間を大切にするために、「100分で1科目」を学びます。ずっと座学ではなく、活動の切り替えを柔軟に挟む工夫をしながら授業を進めます。

Q2. 1日の授業スケジュール例を知りたいです。土日の登校はありますか？

A2. パンフレットP.5の日課表にあるように、曜日によって、4時間授業（2科目）から8時間（4科目）授業となります。土日の登校は原則ありませんが、模試、学校行事、部活動や探究活動等で登校する場合があります。

Q3. 単位制だが、クラス編成はどのようにになりますか？学科ごとにクラスは分かりますか？

A3. ホームルームの編成は、未来デザイン科とビジネスイノベーション科の生徒が混ざり合った40人のクラスになります。授業のクラスは、全員が必ず履修する科目等はホームルーム単位のクラスとなりますが、自分が選んだ科目（選択授業）の時間は、科目ごとにメンバーが変わります。学科の枠を超えて、多彩な仲間と出会うことができるのが彩輝高校の魅力です。

Q4. 未来デザイン科とビジネスイノベーション科の生徒が合同で履修する授業はありますか？

A4. ホームルームや全員が必ず履修する科目、「総合的な探究の時間」などは合同で行います。また、未来デザイン科の生徒が商業科目を、ビジネスイノベーション科の生徒が普通科の発展的な内容の科目を選択し、一緒に学ぶこともあります。

(2) カリキュラム・実技について

Q5. 高校卒業後の進路が明確でない場合等、科目選択に迷った時はどうしたらよいですか？

A5. 2つのクラスを4人の担任が担当する「チーム担任制」を取り入れているため、4人の先生にいつでも相談できます。生徒一人ひとりのやってみたいことや悩みにじっくり寄り添い、一緒に考えながらより良い科目選択ができるよう全力でサポートしますので安心してください。

Q6. 英語のほかにどのような外国語を学ぶことができますか？

A6. 自由選択科目として「韓国語」や「中国語」の講座を予定しており、自分の時間割に組み込んで学ぶことができます。

Q7. ネットやAIをどの程度使用しますか？また、タブレットの購入についても教えてください。

A7. インターネットやAIをどの程度使用するかは授業によって異なりますが、授業や探究活動では、Chromebook端末等を日常的に活用します。ただし、使うことが目的ではなく、自分の考えを広げるための「道具（手段）」です。人と対話したり、体験したりする「リアルな学び」を何よりも大切にしながら、デジタルを賢く使いこなす力を育てます。Chromebook端末の購入については札幌市の規定に沿って入学時にご案内します。

Q8. スキー授業やプール（水泳）の授業はありますか？

A8. 体育の授業では、スキーや水泳は予定していません。探究活動では、近隣の藻岩山スキー場を活用したプロジェクトを予定しており、個人やグループの選択として、スキーに取り組む可能性はあります。

Q9. 授業は基本的に藻岩高校の教員が教えてくれるのですか？必要に応じて啓北商業高校からも教員が来て教えてくれるのでしょうか？

A9. 藻岩高校や啓北商業高校で指導してきた教員をはじめ、開校に合わせて、札幌市立の各高校から人事異動により彩輝高校へ着任した先生方が授業を教えます。

(3) 進路・進学について

Q10. 国公立大学や難関私大の一般入試を目指す生徒に対し、どのような受験指導やサポート体制がありますか？

A10. 単位制を活かして、基礎から発展的な深い学びまで、進学目標にあわせた科目を選択できます。また、1年次からチーム担任制による丁寧な進路面談やデジタル学習での個別サポートを行い、生徒の様々な進路を支援する環境を整えます。さらに、3年次になったら受講できる放課後、夏休み・冬休みの時間を使った講習を計画しています。

Q11. 学校として想定されている進路モデル（4年制大学、短大、専門学校、就職等）や、進学・就職先について教えてください。

A11. 両科とも、藻岩高校と啓北商業高校の進路先実績（両校のホームページに掲載）に加え、新たな進学・就職先など、生徒の希望する多彩な進路に対応します。

Q12. ビジネスイノベーション科では資格取得に向けた科目がありますか？また、必ず取得しなければならない資格はありますか？

A12. 簿記や情報処理などの商業科目を設置していますが、資格取得をメインとする授業ではありません。商業科目で学んだ内容を基盤に、資格取得を希望する生徒は、自らの目標に応じて主体的に挑戦することができます。なお、資格取得は全員必須ではありません。

Q13. 大学等の指定校推薦枠、企業からの指定校制度はありますか？

A13. 彩輝高校に限らず、基本的に指定校推薦や指定校制度は、その年度に各大学や企業から提示されるものなので、現時点では確実なことをお示しすることが難しい状況です。新設校のため実績がないので、出来るだけ早い段階から各大学や企業と連絡を取り、藻岩高校と啓北商業高校と同様な指定校推薦をもらえるよう働きかけていきたいと考えています。

2. 学校行事・生徒会活動について

Q1. 学校祭や体育祭などの行事は、藻岩高校と合同で行われますか？

A1. 学校祭や体育祭などの行事は、同日開催しますが、合同で行うかどうかや内容等については、両校の生徒たちの意見を尊重しながら今後検討していきます。

Q2. 学校祭では、展示や飲食物の販売などはありますか？

A2. 彩輝高校の学校祭「SAIKO FES」は、生徒の有志が集まり企画・運営をする「実行委員会形式」で行います。展示や販売等も、実行委員会の企画内容によって、実施するかどうか決まります。

Q3. 常任の委員会がありますか？また生徒会はいつ頃からどのような形ではじまりますか？

A3. 数を絞って常任委員会を設置する予定です。入学してすぐに各クラスで常任委員を選出するとともに、生徒会役員選挙を行い活動をスタートします。集まったメンバーで「どんな活動にしていくなか」を話し合いながら、自分たちの手で創り上げていきます。

Q4. 校外での活動の予定や、修学旅行先を教えてください。

A4. パンフレットP.3～4に掲載のように、「Feel度Walk」や「協働探究」をはじめ、ビジネスイノベーション科の各プロジェクト等で校外活動を行います。また、1年次にニセコでの「宿泊研修」、2年次に関西方面への「見学旅行」を予定しています。

3. 校則・学校生活について

(1) 服装・身だしなみについて

Q1. 髪型・髪色・化粧・服装等に対する校則はありますか？普段の生活に関わる禁止事項があれば知りたいです。

A1. 校則と生活の心得では、細かな制約を設けることは考えておりません。日ごろから「時・場所・場合（TP0）」に応じた相応しい恰好は何か、適切な行動とは何かを考える機会を作り、自分で考え、判断し、選択する姿勢を大切にしたいとの思いからです。ただし、これは「どんな格好でも自由」ということではありません。例えば、式典などのフォーマルな場、体育や実習といった安全が求められる場など、その場に合った装いができる社会性を身に付けてほしいと考えています。

Q2. 制服がないとのことですが、スーツ等の正装が必要な場面はありますか？

A2. 入学式や修了式などの公式な式典や行事では、スーツ等の正装が必要になる場面があります。基準となる服装（ドレスコード）については、合格者に送付する書類にて詳しくご案内します。

Q3. 学校指定ジャージはありますか？体育などのジャージを着用する必要がある日は、ジャージ登校ですか？

A3. 体育指定のジャージ、Tシャツ、学校指定の上靴があり、購入していただきます。活動に合わせて自分で考え、判断し、ジャージで登校することも選択できます。

(2) 持ち物・生活ルールについて

Q4. スマートフォンの持ち込みは可能ですか？

A4. 校内へのデジタル端末やスマートフォンの持ち込みは、適切な利用を前提として認めています。授業中においては、探究や実践的な学びで必要な場合に教科担任の許可を得て使用することができます。

Q5. 藻岩高校の生徒と同じ校舎で生活する上でどのような違いがありますか？また、藻岩高校との連携はありますか？

A5. 授業時間や時間割、校則、制服の有無などの違いがあります。藻岩高校とは互いに有意義な学校生活を送れるよう、生徒会役員を中心に話し合いを通して連携していきます。

Q6. 昼食はどうなりますか？（お弁当、学食、売店、給食など）

A6. 学食や給食はありませんので、昼食の時間に、持参したお弁当や校内の売店で購入したもので昼食を取ってもらいます。

Q7. 自転車通学は許可されていますか？

A7. 自転車での通学は可能です。自転車通学許可願を提出し、学校の許可を受ける必要があります。

Q8. アルバイトは可能ですか？

A8. 高校時代は、学習や探究活動、部活動など「今この時にしかできない経験」に全力を注いでほしいという思いから、原則として認めておりません。なお、特別な事情がある場合はご相談ください。

4. 部活動について

(1) 設置される部活動の種類と既存校との関係・体制について

Q1. 具体的にどのような部活動が設置されますか？また、既存の藻岩高校・啓北商業高校の部活動とは同じ活動となりますか？

A1. 具体的な開設予定部活動は、パンフレットP.6に掲載されています。令和9年度・10年度は、同じ校舎で学ぶ藻岩高校の生徒と基本的に「合同」で練習を行います。啓北商業高校は**部員数等によって、「合同」または「単独」での活動となります。**

Q2. 設置予定のない部活動を作ることはできますか？

A2. 「サークル志向」については、令和10年度以降に生徒の希望等も踏まえながら設置する競技等を検討していきます。また、「サークル志向」から始まり「専門志向」の活動へと移る可能性もあります。

Q3. 高体連などの公式戦に出る場合、藻岩高校の2・3年生と彩輝高校の1年生は「別チーム」ですか？それとも「合同チーム」ですか？

A3. 練習は合同で実施しますが、大会等は、種目ごとに、藻岩高校の部員数と彩輝高校の部員数によって、生徒に不利益がないように「別チーム」で出場するか「合同チーム」で出場するかを選択します。なお、啓北商業高校の部員数によっては、3校の合同チームや1校だけ単独で、残り2校での合同チームもあり得ます。

(2) 活動時間・形態について

Q4. 部活動の「専門志向」と「サークル志向」の違いは何ですか？

A4. パンフレットP.6に掲載のとおり、「専門志向」は大会出場や技術向上を目指し外部専門家が指導します。「サークル志向」は大会には出場せず、体験や仲間づくりを目的とします。

Q5. 部活動の活動回数はどのぐらいになりますか？

A5. 藻岩高校と合同練習をしている期間は最大週5回になります。彩輝高校だけの活動になった際には、専門志向は最大週4回、サークル志向は最大週2回で、専門志向とサークル志向を兼部して、最大週5日まで自分で活動をデザインすることもできます。

Q6. ユニフォームは全て生徒負担で購入となるのでしょうか？

A6. ユニフォーム等は原則として自己負担となります。

Q7. 部活動と勉強の両立は可能ですか？中学生向けの部活動体験はありますか？

A7. 放課後の時間を自分でデザインする単位制の仕組みにより両立が可能です。また、両立に不安や困難が出てきましたら先生方がいつでも相談に乗ります。彩輝高校の部活動体験については、開校前なので実施することができません。

5. 入学試験、受検制度について

(1) 合格ライン・ランク・定員について

Q1. 合格の目安となる内申ランクや学力点、偏差値、ボーダーラインはどれくらいですか？

A1. 彩輝高校に限らず公立高校は、出願してきた受検生の成績で合格ラインが決まります。一般的に言われている合格ラインは、過去の実績からの予想であり、彩輝高校は新設校のため予想することができません。また、学校が決める特定の評定基準はなく、調査書と学力検査を総合して選抜します。

Q2. 募集人数・定員は何名ですか？

A2. 定員は未来デザイン科（普通科）が200名、ビジネスイノベーション科（商業科）が120名と決まっており、この人数で募集を行います。

Q3. 今年度の想定される受検倍率ほどの程度と予想されますか？

A3. 新設校のため、倍率の予想はできません。

Q4. 普通科と商業科で入試の難易度やランクは違いますか？

A4. 学科ごとに選抜するため、定員や受検者数が異なることから、難易度やランクが違う可能性はあります。出願してきた受検生によって変わるので、難易度やランクは事前にお示しすることはできません。

(2) 志望学科・併願について

Q5. 第1志望を未来デザイン科、第2志望をビジネスイノベーション科（またはその逆）とする出願は可能ですか？

A5. 一般入試では、2つの学科を「第1志望・第2志望」として出願することが可能です。推薦入試では、1つの学科しか出願することができません。

Q6. 第1志望の学科で不合格となった場合でも、第2志望の学科で合格することはありますか？

A6. 札幌市の公立高校入試のルールに則り、第1志望の学科で不合格となった場合でも、第2志望の学科で合格基準を満たしていれば合格となる仕組みがあります。

(3) 推薦入試・その他条件について

Q7. 自己推薦枠の定員（人数）はどれくらいですか？

A7. 推薦入試の募集人員は、未来デザイン科が定員の30%程度（約60名）、ビジネスイノベーション科が定員の40%程度（約48名）です。

Q8. 推薦入試の面接で重要視する点は何ですか？面接以外の試験はありますか？

A8. 「個人調査書」「自己推薦書」「面接」「作文試験」の4つを総合的に評価します。面接等ではアドミッションポリシーに沿った人物であるかを評価します。

なお、詳細は札幌市教育委員会のホームページ上に公開しています。



▲R9学校裁量についての実施予定一覧表



▲R9「入学者の受入れに関する方針等」一覧表

Q9. 中学3年間の欠席日数が何日以上だと受検できない等の制限はありますか？

A9. 制限はありません。札幌市の公立高校入試のルールに、出欠の記録については選抜の資料として使用しないことが明記されています。

Q10. 来春から住民票が異動となる場合や道外からの推薦受検はできますか？

A10. 推薦入試に出願できるのは、札幌市内に保護者の住所があり、令和9年3月に道内の中学校等を卒業見込みの生徒です。一般入試については、条件によっては出願が可能となります。詳しいことは、10月上旬ごろに「令和9年度入学選抜要項」が発表された後に、在籍している学校を通して、高校再編準備担当課（011-522-7225）へ問合せをしてください。

6. 施設・設備・その他

(1) 施設について

Q1. 新校舎はいつから利用できますか？現在の校舎にクーラーはついてますか？

A1. 新校舎は令和10年秋頃にしゅん工し、使用を開始する予定です。現在の校舎にはクーラーは設置されていませんが、新校舎に移動するまでの間、できる限り快適に過ごせるよう暑さ対策について現在検討しています。

Q2. 入学後は、啓北商業高校か藻岩高校、どちらの校舎に通うことになりますか？

A2. 藻岩高校の校舎へ登校していただきます。

Q3. グラウンドが工事中とのことですが、体育の授業や部活動はどのように行いますか？いつから使えますか？

A3. 新校舎やグラウンドが完成するまでの期間は、工事の影響がないグラウンドのエリアや既存の施設、近隣施設を工夫して活用し、授業や部活動に支障がないよう対応します。なお、本格的なグラウンドの整備は、旧校舎を解体後の令和13年度から令和15年度の期間で行う予定で、完成したエリアから順次使用可能になる見込みです。

(2) 学校の理念・その他

Q4. 彩輝高校にしかない魅力や、他の公立高校との違いは何ですか？また、彩輝高校はどのような人物を輩出したいですか。

A4. 彩輝高校は、「つながりを力に。未来を彩り輝かせる冒険者へ。」を学校教育目標に掲げています。

彩輝高校ならではの魅力は、地域や企業、大学など、多様な人や社会とつながりながら、本物の経験を積み重ね、高校での学びが社会に生きてはたらく学びになるところにあります。単位制や探究活動、普通科と商業科がともに学ぶ環境などを生かし、生徒一人ひとりが「何を学ぶか」「何に挑戦するか」を自分で考え、選び、行動する機会を数多く用意しています。

私たちが育てたいのは、決められた答えを待つ人ではなく、多様な人と対話し、失敗を恐れず挑戦し、自分らしい答えを創り出しながら、未来を自分たちの手で切り拓いていける人です。